

道徳科学習指導案

[小6年] 歓迎のKAVA (国際理解・国際貢献)

実践者：千葉市立新宿小学校 福田 陽

環境・形態

パソコン：タブレットPC40台

学習場所：普通教室（理科室）

周辺機器：大型テレビ・サイレックス

利用形態：一斉授業（教材提示・意見共有・意見分析）

利用ソフト：AIAIモンキー（アクティブブレインズ） ロイロノート（ロイロ）

単元について

○単元の目標

他国の人々や文化について理解し、国際親善に努めようという思いをもつことができる。

○単元について

本学年は6学級あり、児童数215名の非常に多い学年である。各学級は36名前後であり、全体に穏やかで、落ち着いて学習に取り組んでいる。しかし、人数が多いため、学年全体での活動が難しいことが多く、様々な活動において学年を半分に分けて行うことが多い。そのため、6年間同じ学校で過ごしているのに、お互いに顔と名前が一致しない児童が見られるなど、一体感や所属感をどのようにもたせていくかが課題である。

また、本校では、外国籍の児童や保護者が外国籍である児童が、各クラスに在籍している。お互いのルーツについて理解している場合も多く、様々な国に関係している友達がいることが自然な状態である。総合的な学習の時間で、国際理解をテーマに学習を行った際にも、他国の文化に関心を示し、多くの児童が国際親善への思いをもつことができた。

そこで、本単元では、フィジーの歓迎の儀式である「KAVAの儀式」を取り上げる。観光客向けにも多く行われる儀式であり、フィジーに旅行をした際に触れることの多い儀式である。木の根を水に浸して、素手で出汁を揉みだす。それを一つの器で回し飲むという状況は、児童にとっては戸惑いを感じる状況であると考えられる。歓迎の思いで行われるという儀式であることを踏まえたうえで、実際に海外旅行をするという想定で、自分だったらどのように行動するのかということを考えさせていきたい。結論を一つにまとめるのではなく、飲む、飲まないに関わらず相手の思いや自分の思いにしっかりと向き合い、それぞれの思いを深めていく過程を大切にしていきたい。

児童・生徒の実態

○児童・生徒の実態

日常的にタブレット端末を活用できる環境にあるため、文字入力等のICT活用についてもある程度習熟している。各教科の学習でICTを活用した学習を計画的に取り入れていくことにより、家庭の状況等に関わらず、ある程度習熟させていくことが可能である。また、ウィンドウズタブレットは、ソフトキーボード、フリック入力、手書き入力など、児童の実態に応じて入力の方法を柔軟に選択できる。外付けのキーボードや予測変換機能を活用すれば、タブレット端末を道具として有効に活用できると考える。

学習展開

○目標 他国の人々や文化について理解し、国際親善に努めようという思いをもつことができる。

○本時の展開（1時間扱いの1時間目）

主な学習内容と手立て ◇評価	情報機器およびソフトウェア
<p>1 動画を視聴したり、実物を見たりして、KAVAの儀式のイメージを深める。</p> <p>2 問題を把握する。</p> <div data-bbox="432 456 1059 568" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>フィジーに旅行をしたときの体験談を伝える。 実物を見せる。実際の動画を見せる。</p> </div> <div data-bbox="193 600 1059 712" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>もし、自分がフィジーに旅行するとしたら、KAVAの儀式に参加したいと思いますか？</p> </div> <p>3 A I A I モンキーに自分の考えを入力する。（1回目） 選択肢は児童と話し合って決める。考えを記入した児童は、自分の考えが次のA～Dのどれに近いかを選択して送信する。</p> <div data-bbox="193 920 718 1137" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A 歓迎の儀式に参加したい。 B 歓迎の儀式に参加したくない。 C 条件付きで参加（不参加）したい。 D どちらともいえない。（その他）</p> </div> <p>4 わくわくの実を見ながら、グループごとに話し合いをする。 友達の意見を知って、考えたことについて話し合うよう助言する。</p> <p>5 補足説明を聞く。</p> <div data-bbox="177 1402 1042 1469" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>フィジーの人たちと仲良くなるために、大切なことは何でしょうか？</p> </div> <p>6 クラス（またはグループ）で話し合いを深める。</p> <p>7 A I A I モンキーに、自分の考えを改めて入力する。（2回目） 「仲良くなるために大切なこと」以外にも、友達の考えを知っての感想や自己の変容についても入力するよう助言する。</p> <div data-bbox="368 1765 1054 1883" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇2回目の考えに、他国の文化についての理解や国際親善に努めようという思いへの深まりがみられるか。</p> </div> <p>8 学習のまとめをする。</p>	<p>○タブレットPC</p> <p>「ロイノート」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・儀式のイメージをもち、問題を把握しやすいようにプレゼンテーションでテンポよく問題提示を行う。 <p>「A I A I モンキー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員の考えを読むことができる。また、入力された考えはキーワード解析され、「わくわくの実」に表される。そこから多様な考えを閲覧し、自分の考えを深めたり、議論のきっかけにしたりすることができる。 <p>※ 操作における留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3～4行程度で書く。多くても7行以内。 ・理由のみ記入させる。 ・一字消す際にテキストボックスにカーソルがあることを確認させる。 ・予備のタブレットを起動しておく。 <p>○大型テレビ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択肢や全員の考え（わくわくの実）を大型テレビに映し、共通理解を図る。